

# 令和3年度岩手県流域下水道事業会計決算概要

岩手県県土整備部

- 本県の流域下水道事業は、令和2年4月1日から地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計へ移行。
- 令和3年度は、北上川上流流域及び磐井川流域の10市町を処理区域とし、関連公共下水道から流入した7,121万m<sup>3</sup>の汚水を処理し、これに伴う関連市町からの負担金収入は、前年度比2.0%増の42億6百万円余となった。
- 経常収益は、他会計補助金の減などにより、前年度比0.5%減の93億9千万円余となり、経常費用は、処理場費や減価償却費の増などにより前年度比2.5%増の90億9千9百万円余となった。
- この結果、経常利益は前年度比47.9%減の2億9千万円余となり、純利益は前年度比43.9%減の2億8千9百万円余となった。

## 1 令和3年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B)/B
経常収益		9,390,002	9,432,886	△ 42,884	△ 0.5%
経常費用		9,099,207	8,874,245	224,962	2.5%
<b>経常利益</b>		<b>290,795</b>	<b>558,641</b>	<b>△ 267,846</b>	<b>△ 47.9%</b>
特別利益		0	13,708	△ 13,708	皆減
特別損失		1,390	56,151	△ 54,761	△ 97.5%
<b>純利益</b>		<b>289,405</b>	<b>516,198</b>	<b>△ 226,793</b>	<b>△ 43.9%</b>

## 2 汚水処理状況

令和2年度と比較し、流入水量は1.5%の減少、負担金収入は2.0%の増加となった。

区分	年度	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較		処理区域
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B)/B	
総処理水量 (千m <sup>3</sup> /年)		71,208	72,280	△1,072	△1.5%	
北上川 上流流域 (千m <sup>3</sup> /年)		67,684	68,825	△1,141	△1.7%	盛岡市、滝沢市、雫石町、 矢巾町、花巻市、北上市、 奥州市及び金ケ崎町
磐井川 流域 (千m <sup>3</sup> /年)		3,524	3,455	69	2.0%	一関市及び平泉町
市町 負担金収入 (千円)		4,206,407	4,124,937	81,470	2.0%	

## 3 経常収益の状況

関連市町からの負担金収入は増(81,470千円)となったが、企業債元利償還金の減少に伴う、償還金に係る一般会計繰入金の減(△82,108千円)など、事業外収益の減により、前年度比42,884千円(0.5%)減の9,390,002千円となった。

## 4 経常費用の状況

企業債残高の減少に伴い企業債利息が減(△21,298千円)となったが、処理場費における施設保守の委託料の増(179,240千円)や減価償却費・資産減耗費の増(103,070千円)などにより、前年度比224,962千円(2.5%)増の9,099,207千円となった。

## 5 経常利益、純利益の状況

以上の結果、経常利益は、前年度比267,846千円(47.9%)減の290,795千円となり、当期純利益は、前年度比226,793千円(43.9%)減の289,405千円となった。

(特別損失として企業会計への移行時の過年度損益修正損1,390千円を計上)

なお、経常利益の当初予定に対する実績は次のとおりとなった。

(単位：千円) 税抜

区 分	当初予定	実 績	増 減	備 考
経常利益	49,523	290,795	241,272	負担金収入の増や契約実績等による委託費の減などにより、当初予定と比較し経常利益が増加したものの。
経常収支比率	100.5%	103.2%	2.7ポイント	